氏名	高 野 俊 男
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 286 号
学位授与の日付	昭和43年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 （学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**1-^{14}C acetateの全血脂質へのとりこみよりみた肝硬変患者における脂質代謝について**
論文審査委員	教授 小坂淳夫　教授 平木　潔　教授 水原舜爾

学位論文内容の要旨

肝硬変患者22例を対象とし，その脂質代謝について，全血における1－^{14}C acetate からの ^{14}C のとりこみを指標とした in vitro の脂肪酸合成の面から，正常者7例，糖尿病患者19例および急性肝炎患者5例のそれと対比検討した。各脂肪酸へとりこまれた ^{14}Cの比率についてみると，肝硬変患者では，14：0および16：0へとりこまれた ^{14}C の比率が正常者に比し有意に低下し，また20：4以上の長鎖脂肪酸においては正常者より有意に増加を示し，これらの脂肪酸の合成の面では糖尿病患者の場合と類似の異常パターンが認められた。しかし，肝硬変患者においては，18：1への ^{14}C のとりこみが著明に増加し，正常者および糖尿病患者に比し高度の有意差を示した。急性肝炎患者では，個々の脂肪酸合成の上で正常者と大差がなく，質的な異常はほとんどみられなかった。このような成績から肝硬変患者においては，脂肪酸合成に関して，18：1合成の著明な増加が特異的な変化であることを認めた。

（昭和43年2月　岡山医学会雑誌第80巻第1，2号に掲載予定）

論文審査の結果の要旨

本研究は，肝硬変患者の血液細胞を材料として，1－^{14}C acetate の全血脂質へのとりこみをみることによって肝硬変患者における脂質代謝を研究したもので，従来肝性糖尿病の存在に疑問の懐かれていた点をこの脂質代謝の面から明らかにした価値ある業績であると認める。

よって本研究者は，医学博士の学位を得る資格があると認める。